

## 【議事概要】

件名	第3回 健康くさつ21計画推進会議
日時	平成24年7月3日(火) 13:30~15:30
場所	草津市立さわやか保健センター視聴覚室
出席者	委員 (敬称略) 今居、北脇、酒井、佐野、竹田、竹屋、多々良、築田、西田、長谷川、福山、 掘井、森田 (13名/20名)
	事務局 田中三男、田中優佳、藪田、黒川、岩崎、井上

(失礼ながら、お名前については、苗字のみとさせていただきます。)

### 1. 委員長あいさつ

- ・世界禁煙デー、かむカムフェスタ等イベント参加ありがとうございました。
- ・新委員自己紹介 市民提案事業 協働事業地域栄養士団体「とらいあんぐる」 竹屋委員

### 2. 第2次計画策定について：資料1

(事務局)

- ・健康くさつ21を来年度秋目標に策定するため、課内協議、庁内協議をすすめている。
- ・資料1は国の21の基本的な方向を事務局でまとめたものである。パブリックコメントの原本も資料として添付しているので目を通してほしい。
- ・国は、次期計画の柱を提示してきている。草津市の21は国の21運動を推進するための市単位の計画であるため、国の21の内容も踏まえながら次期健康くさつ21の協議をすすめていきたいと思っている。
- ・評価に関しては、事務局(案)を作成し、次回とその次の2回の会議で意見をもらい評価をしたい。

### 3. かむカムフェスタ2012について

(事務局)

- ・11時から16時までのイベントであり、準備後片付けを含め長時間、お疲れ様でした。本会議からは、12名の委員に参加いただいた。全体としてとても盛況であった。

#### 【ブース】 めがせ8020! アンケート どっちがたべたい?

かむことの大切さをアンケートに回答してもらうという切り口で入っていく参加型啓発を実施。

(感想) 簡単な声かけから噛むことの大切さやメニューの工夫、歯科受診の大切さを伝えることができてよかった。

ブース前が手狭で動線がすっきりしなかった。事前に流れについてももう少し考えておくべきであった。

#### 【たばこ啓発】 子どものまわりは禁煙に

赤ちゃん本舗前で受動喫煙防止の啓発のため、「子どものまわりは禁煙に」とのシールを添付したポケットティッシュを配布。

予定していた500個の8割ほどは配布できたが、あとの2割はイベント会場で配布。

(感想) ターゲットとした人と対面しゆっくり啓発できてよかった。

イベント会場での配布は、言葉をやりとりができず、啓発の効果としては少なかったの

ではないか。

【ステージ】 しっかりかんでニコニコ笑顔 ～お口でじゃんけん大会～

たび丸・キャッフィーとニコニコ笑顔の写真を撮ろう

50人予定で準備して、写真撮影には47人参加。事務局の企画決定が遅く、段取り悪くすみませんでした。

(感想) 委員の司会もよく、小さいお子さんにも楽しく口の体操をしてもらいながら、かむことの大切さ伝えられたことがよかった。ニコニコ笑顔で写真を撮ってもらえてよかった。

【全体】

市民に感じてほしいことを会議の中でみんなで考え、参加できたことは大変よかった。委員の方々の感想にもあるように、多くの子どもや保護者などの市民と直接話をしながらの啓発は、とても手ごたえがあり、大変有意義な時間であったと思う。

### ◎かむカムフェスタ以外の世界禁煙デーのとりくみについて

かむカムフェスタのほかに、委員の活動するフィールドにおいて積極的な取組みがされた。

(委員)

健康推進員は、例年、駅前のティッシュ配布の啓発に参加していた。今回、本会議の中で、直接に声かけをして啓発してはどうかとの意見もあり、各地域、その地域の健康推進員により啓発をすることになった。幼稚園、保育所、商店街等いろいろなところで「子どもさんへの受動喫煙を気をつけてくださいね」等の声かけをしながら、保護者の方を中心に啓発した。

(委員長)

健康推進員として地域で啓発活動を行った。幼稚園での啓発は送迎時間が一斉であったが、しっかり話をして啓発を行うことができた。

(委員)

地域の子ども会の保護者会と草津市子ども会指導者連絡協議会で、啓発ティッシュを配布。事務局作成の目的等記載の依頼文を全体の前で会長が読まれ、色々と煙草に関する話も聞いてもらったので、有意義であった。

### ◎感想

(委員)

「めざせ 8020! アンケート」について、子どもに声をかけるととても興味を持ってもらえ、とてもよい媒体であった。保護者とは「家では和食はあまり作らない」など生活を振り返って話すことができてよかった。その後クイズ形式で、こちらが、伝えたいことを伝えられたことがよかった。

(委員)

「めざせ 8020! アンケート」について、不特定多数が買い物に行くという場所で、ターゲットを親子連れに絞り込んでつくった。

買い物目的に会場にきている人にどう興味をもってもらえるかという「入口」の部分と、興味を持ってもらえた中で、楽しく暖かいうりとりができ、それをもって帰ってもらうという「出口」までの流れを考えて作成した。このようなやり方は、あの場面で効果があったと思う。

今後、核になる伝えたいことは変えず対象に応じてリーフレット等活用できればと思う。

ステージは、小さい子に必要なことを「口からこんにちは体操」から、絞って、取り組みやすい形

にして行った。もう少し、親御さんを意識して、効果等キャッチフレーズの啓発につながる話もできるとよかったが、写真撮影など、盛りだくさんの計画をしたのでその時間をとることは難しかった。

#### **4. 今年度予定していた今後のイベントについて**

(事務局)

1回目の会議の際の資料として出した年間スケジュールに昨年度参加したイベントを記載していたが、今年度、9月の会議からは次期計画の策定にむけての協議をしたいため、予定している会議の時間中には、イベント内容等に関して協議することはできない。それを踏まえて、「パワフル交流市民の日」などの参加についての意見を聞かせて欲しい。なお、昨年度参加した「歯一トフル淡海」は、会場が滋賀県北部であり、参加依頼はない。

一昨年は、福祉のつどいとパワフル交流市民の日が一緒に行われたが、昨年は、パワフル交流市民の日のみとなり、主旨が福祉のつどいとは異なったものとなっていたが、啓発の機会であり参加している。

(委員)

昨年度のパワフルは、雨で場所も市役所内に集約され手狭であったことも影響してか、何を目的としているかわからないイベントであった。子どもが参加すると楽しいイベントではあると思うので、アンケートを持っていけば、それなりの人は集められると思う。

(委員長)

昨年度は、主旨、ターゲット、内容を論議せずに参加したので、そのような形になったところもある。

(委員)

パワフルは、人の出入りが限定されるのではないかと。同じ子どもがぐるぐる回っている。啓発する＝広めるという意味では参加人数が少ないと思う。

(委員)

今回かむカムに参加した経緯について。グループワークの中で何を伝えたいかを協議し、キャッチコピーをつくり、啓発の指導的なものや雛形があるといいということでリーフレットをつくった。それをかむカムで一度実際に使ってみて、さらに良いものにするためにその後協議しよう、という位置づけでの参加であった。

グループ協議が今回終了するなかで、もう1回イベントに出て行く必要性は低いと思う。本日、かむカムに参加して学んだことを協議し、今後の方向性がみんなを確認できればよいのではないかと考えている。

(委員長)

一昨年は、イベント主催者側から、ぜひ21に参加して欲しいとの依頼があり、参加したように記憶している。そのような主催側の思いや本日いただいた委員の意見を参考に事務局で検討してほしい。

#### **5. たばこ対策、歯の健康・8020推進等について (グループ協議)**

【歯の健康・8020推進グループ】

メンバー：北脇、竹田、竹屋、多々良、西田、築田、長谷川、黒川、田中優佳

- ・ 啓発ややりとりの中身については十分に協議できたが、キャッチコピーをどこまで伝えられたかには課題がある。キャッチコピーを色々な場面で意識して使っていくことが大切である。

- ・ かむことの大切さは分かっている意識することを忘れて生活してしまうとの意見もあった。草津市で生まれ、年をとっていく中で、折りにふれ「噛むこと」や「定期的に受診すること」の大切さを、キャッチコピーの言葉を伴ってきちんと話される機会に恵まれる、これらが定着していくと思われる。中身については指導案やリーフレットを活用し各々が啓発すればよいが、言葉自体が定着することをめざして、行政のあらゆる事業や各種団体の事業等、色々な場面で啓発しましょう。
- ・ 歯科医師会が法人化されるにあたり、にっこり笑った笑顔の写真を募集し、ポスターを作製して色々な場所に掲示を予定されている。その中心の言葉に21のキャッチコピーを使用してもらうこととなっており、この企画もすすめていく。
- ・ この会議に来て話をすることで歯に関して意識するようになったとの意見もあった。啓発とは、このように人との暖かいやりとりの中ですすんでいくものであり、このような機会を多く持つことが大切である。今後は、キャッチコピーをどう広めていくかを軸にしながらすすすめていく。
- ・ 今回作成したリーフレットの雛形は、健康増進課でデータとして保存し、必要な人が健康増進課からデータをもらい活用する。

#### 【たばこ対策グループ】

メンバー：今居、酒井、佐野、福山、堀井、森田、田中三男、藪田、岩崎

#### ティッシュペーパーへのシール貼付による啓発について

- ・ 世界禁煙デーと禁煙週間にちなんだ活動は、とても意義のあるものだった。
- ・ 『禁煙』ではなく、『受動喫煙の防止』を題材としているので、子どもや妊婦がターゲットとなり、活動の場は広がりやすい。こども会だけでなく、市民センターや町内会を巻き込むことで、町内会に入っていない家庭の子や、こども会にまだ入らない世代の子を持つ親、妊娠中の家庭へのアプローチができるかもしれない。対話しながらの活動をしていくべき。

#### ◎ 啓発シール、ポケットティッシュについて

ポケットティッシュは、限りがあり今後も継続して準備することは確約できない。啓発シールについては、他のリーフレットと同様に事務局で準備し、必要に応じて使用できるようにする。データとしても保有し、必要に応じて加工するなどして利用していく。

#### 今後のたばこ対策の方針について

- ・ 低年齢からのたばこ教育が必要と言われているが、草津市においては、小学校高学年でのたばこ教育のみが必須で行われている。その中で、先進的に全学年におけるたばこ教育を実施している小学校があるということで、委員からの情報を受け事務局で笠縫東小学校における、全学年でのたばこ教育の情報提供。
  - ▷養護教諭による、身体計測に付随した保健指導の時間を利用した活動。
  - ▷市から、低学年も含めたこどもへのたばこ教育についての情報提供や、啓発資材の提供、講師派遣のコーディネートといった、サポート体制を充実させた上で、全学年での活動が行われるように働きかけていけないだろうか。
  - ▷市内小学校では、指導要領により「高学年での防煙教育」が行われており、それを越えた指導を強制することは非常に困難であり、低学年での指導による不利益についても議論する必要がある。
- ・ 視覚に訴えるような啓発資材について
  - ▷市内薬剤師の所有する資材や実際に使用したスライド等をいただけることになっている。(市

外小中学校に、年間 20 校ほど依頼を受け講演している。)

▶薬剤師会を中心に、たばこ教育に熱心な講師がいることも、学校側に情報提供し、活用してもらえらるような体制ができれば良いのではないか。

⇒ 21 会議から市に対し、禁煙啓発、受動喫煙防止に関わる啓発や環境づくりなどの対策を、あらゆる機会をとらえて今後も継続して行っていくことを提言する。中でも、小学校全学年でのたばこ教育がますます広まるよう、積極的に働きかけることを望む。

このなかで、学校や地域を含めた多方面との連携や地道な啓発を行って欲しい。特に世界禁煙デーにちなんで実施した健康推進員等による地域での取組みは、毎年継続できるようすすめて欲しい。

健康づくり推進協議会においても報告し、市内関係者の理解を得る。健康増進課は健康づくりの担当課として、対策を積極的にすすめていくことを提案したい。

### 委員長より

グループに分かれての協議は今回で終わりだが、実質的な中身の濃い協議が楽しく行うことができて大変よかった。9月からの協議もよろしくお願いします。

以上